Pioneer sound.vision.soul

取扱説明書

お取り扱いについてお困りのとき

**http://pioneer.jp/support/**


カスタマーサポートセンター

フリーフォン **0070-800-8181-22**

一般電話 **03-5496-2986**

受付時間

月曜〜金曜
9:30〜18:00
土曜・日曜・祝日
9:30〜12:00、13:00〜17:00

(弊社休業日を除きます。)


※ フリーフォンおよびフリーダイヤルは、携帯電話・PHSからはご利用になれません。一般電話は、携帯電話・PHSからご利用可能ですが、通話料がかかります。

スピーカーシステム

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

## 安全に正しくお使いいただくために

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。

⊘ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

### 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聴くのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

### キャビネットのお手入れ

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

### パネル表面のお手入れ

本機のパネル表面は、付属のクリーニングクロスで軽くから拭きしてください。

**ご注意**

- ホコリの付いた布や硬い布で拭いたり、強くこすったりすると表面に傷がつくことがあります。
- パネル表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本機の表面をつたって内部に侵入し故障の原因となることがあります。

から拭きしても汚れが落ちない場合は、当社カスタマーサポートセンター (7ページ参照)へご相談ください。

### 付属クリーニングクロスの取り扱いについてのお願い

ホコリなどで汚れたままのクリーニングクロスを使用すると、本機の表面にキズがつく恐れがあります。クリーニングクロスが汚れたときには、以下のように洗濯をしてください。

- 中性洗剤を1 %程度に薄めて、もみ洗いをしてください。そのあと、洗剤が残らないように十分にすすぎ洗いをし、乾燥後ご使用ください。
- 洗濯した際に色落ちする場合がありますが、拭き取り性能には問題ありません。

クリーニングクロスを紛失されたり汚れがひどくなった場合は、お近くの販売店でクリーニングクロスをご注文いただくか、直接部品受注センター (7ページ参照)でご購入をお願いいたします。

また、代用品として市販の眼鏡レンズ拭きなどを購入されてもご使用いただけます。

### ご使用の前に

このスピーカーシステムの公称インピーダンスは、6 Ωです。負荷インピーダンスが6 Ω対応のアンプ(スピーカー出力端子に6 Ωの表示があるもの)へ接続してお使いください。

スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上を入力しない。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げすぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない ( アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある)。

## ⚠ 注意

### *設置*

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器等に本機を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は市販のコードを使用してください。

- 地震などによる製品の転倒・落下を防止するために、設置の際は転倒・落下防止対策を必ず行ってください。
  詳しくは、5ページをご覧ください。

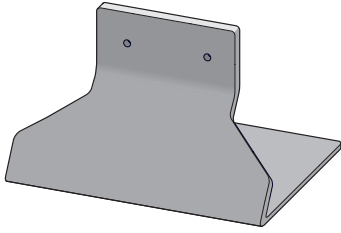
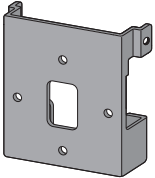
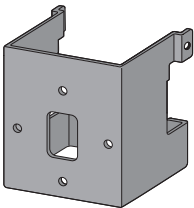
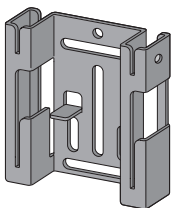
- 組み立て、取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、当社は一切責任を負いません。

### *使用方法*

- 音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、故障や火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

# 付属品の確認

- スピーカースタンド ×1

- ブラケット(スピーカー用・S)×1

- ブラケット(スピーカー用・L)×1

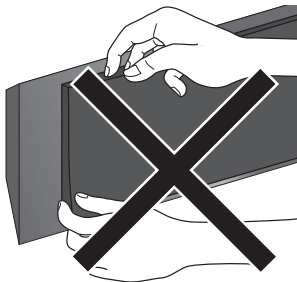
- ブラケット(壁用) ×1

- ネジ(長)×4

- ネジ(短)×2

- 滑り止め ×1(セット)
- パッキン(スピーカースタンド用) ×1
- 面ファスナー (オス凸)×2
- 面ファスナー (メス凹)×2
- クリーニングクロス ×1
- 壁掛け設置用台紙 ×1
- 取扱説明書(本書)
- 保証書
- ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内

# スピーカーグリルについて

本機のグリルは、取り外すことができません。無理に外そうとするとグリル破損の原因となることがありますのでおやめください。

# スピーカーを設置する

本機は床や棚に直接置くことはできません。必ず、ブラケットを使用して壁に取り付けるか、スピーカースタンドで平らな安定した面に設置してください。

- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムですが、設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15分から30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラを発生するような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。近くに磁石や磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

## 壁に取り付ける

- 取り付け前に壁などを調べ、製品の重量に十分耐える取り付け強度があることを確認してください。
- 本機を壁に取り付ける場合は、重量・取付方法によっては落下・転倒などの危険性があります。事故のないように十分注意してください。
- 壁に取り付けるためのネジは付属していません。柱や壁の強度や材質に合わせたものを使用してください。

壁の強度が不明な場合や、取り付けが困難な場合は、専門業者に設置を依頼してください。

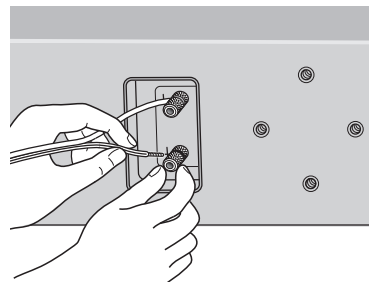
テレビの下の壁など、本機の取り付け場所が決まったら、以下の手順でスピーカーを固定します。
ブラケット(スピーカー用)は2種類が付属しています。パイオニアプラズマテレビと組み合わせて設置する場合はLタイプを使用してください。壁に密着して取り付けたいときは、Sタイプを使用します。

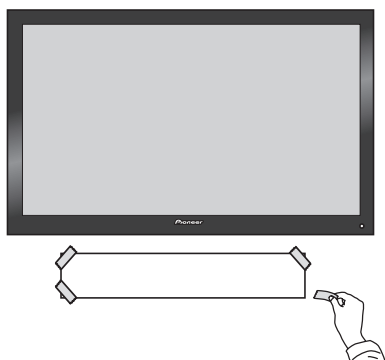
### 1. スピーカーコードを接続する

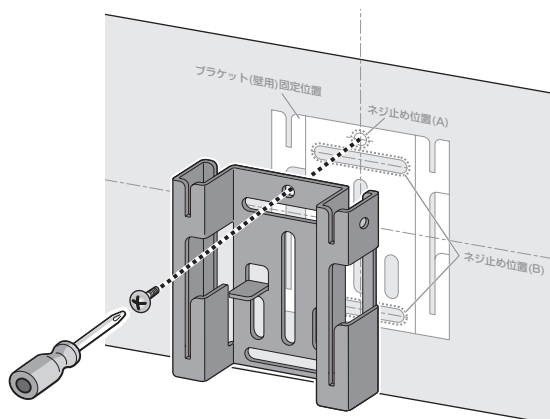
スピーカーを壁に固定する前に、スピーカーコードの接続を行ってください。
本機にはスピーカーコードは付属していません。スピーカーコードは次の点に注意してお選びください。

- できるだけ太い芯線のものを使用し、必要以上に長くしないでください。
- 種類により固有のキャラクターを持つものがあります。注意してご使用ください。
- 接触抵抗ができるだけ小さくなるように、スピーカー端子とアンプへの接続はしっかり固定してください。

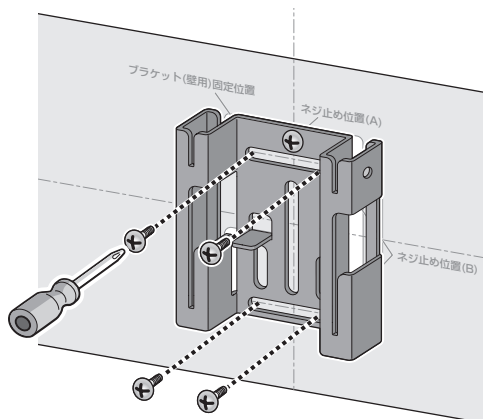
スピーカーコードを接続する際は、以下の点にご注意ください。

- スピーカーコードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりするとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- 端子に接続したあとスピーカーコードを軽く引いて、スピーカーコードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出たりする原因となります。
- アンプに接続したときに、片方(右または左)のスピーカーシステムの極性(＋、－)を間違えてつないだ場合、正常なステレオ効果が得られなくなります。

## 2. 設置する壁面に、付属の壁掛け設置用台紙を貼り付ける

台紙をテープなどで水平に固定します。このとき台紙が傾いていると、スピーカーをななめに固定してしまう恐れがありますので、よくご確認ください。
テレビに近付きすぎると、取り付けの際にぶつかってスピーカーを固定できないことがあります。テレビと台紙が重ならないようにご注意ください。

## 3. ブラケット(壁用)を台紙の指示位置に仮止めする

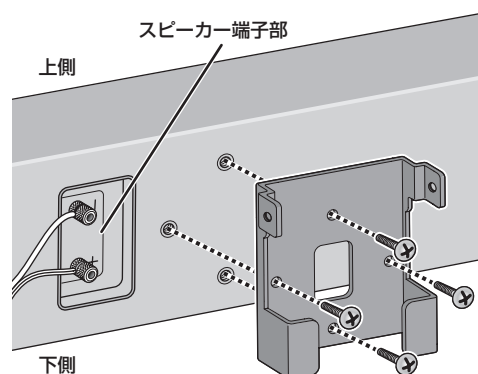
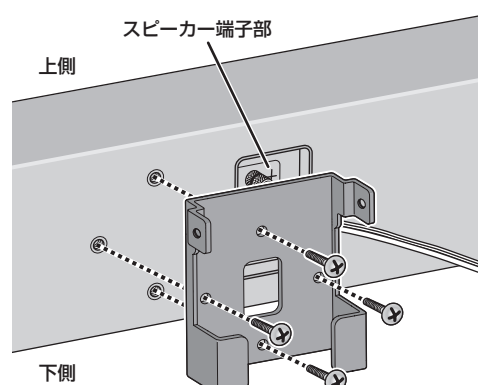
ブラケット(壁用)を台紙の指示位置に合わせたら、「ネジ止め位置(A)」をネジ(推奨ネジ径6 mm)で仮止めします。
台紙とのずれがないように微調整をしてください。

## 4. ブラケット(壁用)を固定する

壁のネジ止め可能な位置に合わせて、「ネジ止め位置(B)」をネジ(推奨ネジ径6 mm)で4カ所(推奨)固定します。最初に仮止めした「ネジ止め位置(A)」のネジもしっかりと固定してください。スピーカーを取り付けたときに、ぐらついたり、落下の危険のないように複数箇所をしっかり固定してください。

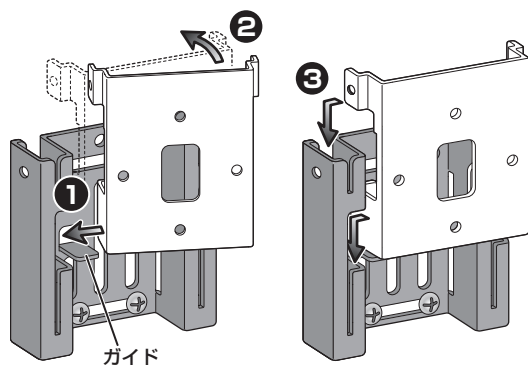
- このあと、台紙を引っ張ってミシン目に沿って取り除いてください。
- 下図は 5 カ所 ( 推奨位置 :「ネジ止め位置 (A)」と「ネジ止め位置 (B)」の四隅 ) をネジ止めする場合の例です。

## 5. スピーカーにブラケット(スピーカー用)を取り付ける

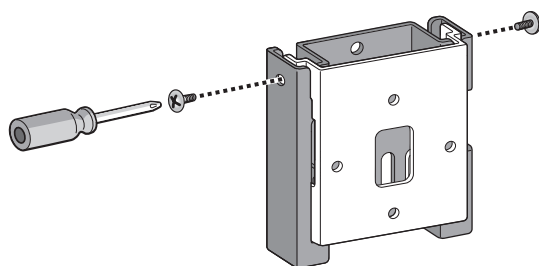
付属のネジ(長)を使用して、4カ所を固定します。
本機は、音の指向性をコントロールする特殊な構造を採用しているため、テレビの上と下で設置する場合によって、固定する向きが異なります。

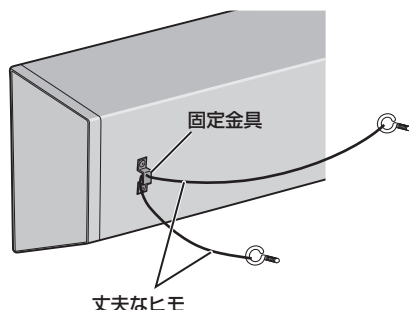
ブラケットには向きがあります。下図を参考にして、正しい向きに取り付けてください。

**■本機をテレビの下側に設置する場合**
スピーカー背面側から見て、スピーカー端子部を左側にして固定してください。

**■本機をテレビの上側に設置する場合**
スピーカー背面側から見て、スピーカー端子部を右側にして固定してください。

## 6. スピーカーをブラケット(壁用)にはめ合わせる

- 下図はブラケット(スピーカー用)にスピーカーを固定していない状態で説明しています。

スピーカーに取り付けたブラケット左側の下端を、ブラケット(壁用)のガイドの上にななめ方向から乗せます(下図 ❶)。
次に、ブラケットどうし右側を当てて、同じ角度になるようにします(下図 ❷)。
少し左に移動させて左側の突起部をブラケット(壁用)の溝に合わせてから、止まるまで下におろします(下図 ❸)。

## 7. ブラケットどうしをネジで固定する

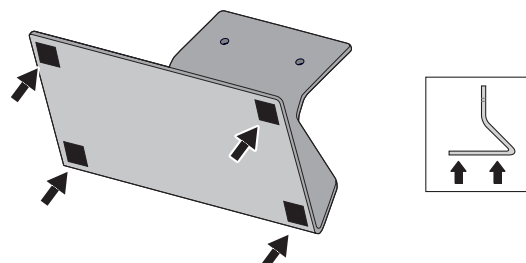
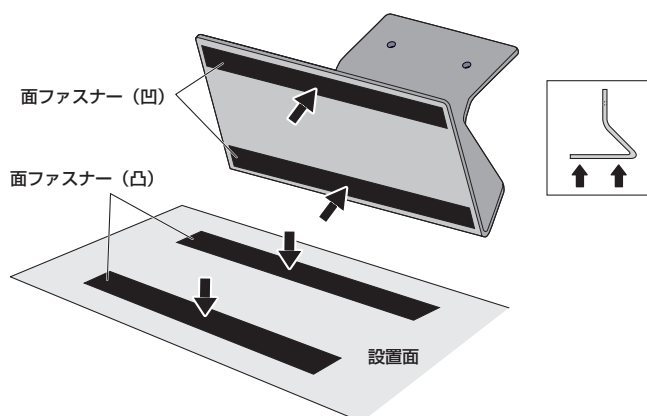
ブラケットの側面上部にあるネジ部を、付属のネジ(短)で左右2カ所固定します。
ドライバーを使用するスペースがないときなど、やむを得ず両側を固定できない場合も、必ず片側をネジで固定してください。

## 8. ヒモでスピーカーを壁に固定する

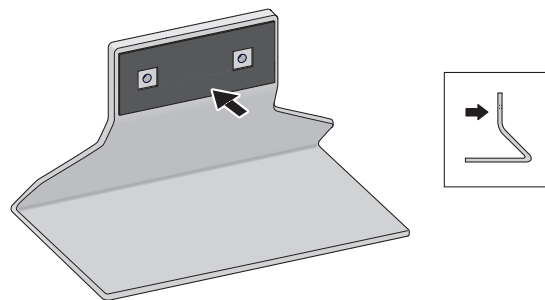
固定金具に丈夫なヒモ(非付属)を使用して、確実に本機を柱や壁に固定してください。また、固定する柱や壁は、スピーカーシステムの重量に十分に耐える強度があることを確認してください。

- 本機の裏面に取り付けた固定金具を、直接壁に掛けないでください。この金具はスピーカー落下防止のため、丈夫なヒモ(非付属)を使用してご利用ください。

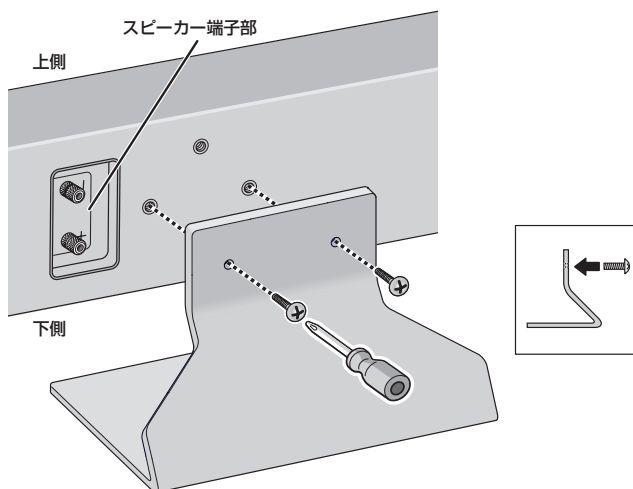
## スピーカースタンドでラックの上に置く

付属のスピーカースタンドを使用して、ラックの上などに本機を置くことができます。スピーカースタンドに、滑り止めまたは面ファスナーを使用して設置してください。
設置面によっては、滑り止めの効果が不十分になる場合がありますので、滑りやすい場所には設置しないでください。

## 1. スピーカースタンドに滑り止めまたは面ファスナーを貼る

**■滑り止めを使用する場合**
スピーカースタンドの底面の四隅に滑り止めを貼り付けます。

**■面ファスナーを使用する場合**
スピーカースタンドの底面2カ所に面ファスナー(凹)を貼り付けます。
次に、スピーカースタンドを設置する面に面ファスナー(凸)を貼り付けます。

## 2. スピーカースタンドにパッキン(スピーカースタンド用)を貼る

スピーカースタンドのスピーカー固定面に、パッキン(スピーカースタンド用)を貼り付けます。

### 3. スピーカースタンドにスピーカーをネジ止めする

スピーカースタンドとスピーカーのネジ穴の位置を合わせて、付属のネジ(長)2本を使用して、しっかりとネジ止めします。スピーカー背面側から見て、スピーカー端子部を左側にして固定してください。

### 4. スピーカーコードを接続する

本機にはスピーカーコードは付属していません。スピーカーコードは次の点に注意してお選びください。

- できるだけ太い芯線のものを使用し、必要以上に長くしないでください。
- 種類により固有のキャラクターを持つものがあります。注意してご使用ください。
- 接触抵抗ができるだけ小さくなるように、スピーカー端子とアンプへの接続はしっかり固定してください。

スピーカーコードを接続する際は、以下の点にご注意ください。

- スピーカーコードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりするとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- 端子に接続したあとスピーカーコードを軽く引いて、スピーカーコードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出たりする原因となります。
- アンプに接続したときに、片方(右または左)のスピーカーシステムの極性(＋、－)を間違えてつないだ場合、正常なステレオ効果が得られなくなります。

# 仕様

形式 ................ 密閉式/防磁設計(JEITA)
スピーカー構成 ................ 2ウェイ方式
　ウーファー ................ 13 cm コーン型×2
　トゥイーター ................ 2.5 cm ドーム型
公称インピーダンス ................ 6 Ω
再生周波数帯域 ................ 40 Hz ～ 50 000 Hz
出力音圧レベル ................ 82 dB
許容入力
　最大入力(JEITA) ................ 130 W
クロスオーバー周波数 ................ 1.7 kHz
外形寸法 ................ 722 mm(幅) x 175 mm(高さ) x 70 mm(奥行)
(突起部除く)
質量 ................ 5.2 kg
付属品 ................ スピーカースタンド ×1
ブラケット(スピーカー用・S) ×1
ブラケット(スピーカー用・L) ×1
ブラケット(壁用) ×1
ネジ(長) ×4
ネジ(短) ×2
滑り止め ×1(セット)
パッキン(スピーカースタンド用) ×1
面ファスナー (オス凸) ×2
面ファスナー (メス凹) ×2
クリーニングクロス ×1
壁掛け設置用台紙 ×1
取扱説明書
保証書
ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証期間中(1年間)、および保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店、または最寄りのサービスステーションにご相談ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」をご覧ください。なお、本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年間です。補修用性能部品とは本機の性能を維持するために必要な部品です。

はパイオニア(株)の開発したPHASE CONTROL技術を用いて低域の遅れのない高品位5.1chサラウンドを実現した製品に付与される商標です。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

## ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

### 商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

#### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜〜金曜9:30〜18:00、土曜・日曜・祝日9:30〜12:00、13:00〜17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■0070−800−8181−22　■一般電話　03−5496−2986

■ファックス　03−3490−5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

## 修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書をご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

### 修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

#### 修理受付センター

受付時間　月曜〜金曜9:30〜19:00、土曜・日曜・祝日9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（ゴーパイオニア）　■一般電話　03−5496−2023

■ファックス　0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

#### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜〜金曜9:30〜18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−879−1910

■ファックス　098−879−1352

### 部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

#### 部品受注センター

受付時間　月曜〜金曜9:30〜18:00、土曜・日曜・祝日9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　■一般電話　0538−43−1161

■ファックス　0120−5−81096

平成19年5月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.023

インターネットによるお客様登録のお願い

**http://pioneer.jp/support/**

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。左記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお左記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

パイオニア株式会社

〒 153-8654 東京都目黒区目黒 1 丁目 4 番 1 号



<SRA1457-A>